

# 波紋

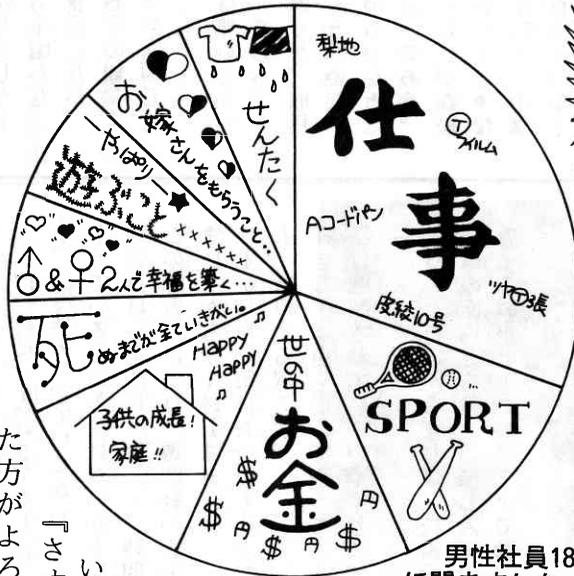
1988

# 6

今の生活の中で



あなたの生きがいは...!?



男性社員18名に聞きました。

他には、スポーツ・お金と続いています。お父さんらしく家庭と答えた人もいました。変わったところでは、洗濯というのもありました。

この辺は?? よくわかりませんが...

結果的には、仕事、お金、家庭、と皆さん家族思いのやさしい人たちの集まりという事ですね。(むりやりでしようか)

た方がよろしいでしょうか。

『さすが森松』と言っ

いや、むしろ

た人が一番多かったのです。

「仕事」と答え

うが、なんと

おみえでしょ

思われる方も

まさか?と

ま

## 交 差 点

モーリンマンは一味違う社員です。最近、若手社員の元気が良いのが目に付く。(今までは割と、おとなしく、静かでした。)営業・配送・製造・各部門の若手のイキが良い。仕事に慣れ、おもしろ味も感じてきたのかな。

結婚適令期を迎え、欲も出てきたし、特に今年は、カワイイ、フレッシュウーマンが4名も入社したから、彼女らの手前、意識している事が源動力になってかも...。理由はなんであれ、やる気が出てきた事は、大いに結構な事です。

ビニール業界の競争が、ますます激しくなり、国内のみならず、外国からも、どんどんビニール製品が入荷している時代です。(台湾製、アメリカ製)モーリンも他社(外国を含む)に、負けな力を養っていかないと、生き残れません。

今の今(一九八八年)は、確かに良い時代ですが、五年先は、ビニール業界がどうなるかまったく判りません。

社員個々が、日々、自己啓発して成長しない事には、モーリンの十年先は保障されません。

モーリンマン全員が「森松マン精神」のもと、自分自身の人生感を、しっかり確立しましょう。そして、総合力で同業他社より、独自性を打ち出して行くこうではありませんか。

森 信之



## トシ君の一方通行

### ドライ

「ドライ」が売れている。昔はビールといえど「キリン」であった。

他社の銘柄が出てくると「俺はキリンしか飲まん」と言ってお怒るおじさんがいたりしたもんだ。今から考えると現在の僕位の年頃かな。

そこで最近三社も「ドライ」を発売したが、圧倒的にアサヒである。何故か酒屋の親父さんが嘆いていた。(商品がなかなか入荷しないそうである)

居酒屋で「何だアサヒのドライは無いのか」というおじさんが増えているそうである。そんなムキになることはないと思うが、成程売れているということは強いなあと思いが、成程飲んでいる。並々成らぬ努力があったとは聞いてはいるが、うらやましい限りである。

よっしゃ！森松もビールは作れないが森松精神の他社に無い商品を作ってやるうじやないか！ほいでもってたくさんの仲間とワイワイやりながら楽しく仕事をやるうじやないか！作る苦労は売れた時におつりがくる。

その時飲む「ドライ」はうまかろうに。よっしゃ俺はやるぞ！そう決めた。とりあえず何から始める。とりあえず「ドライ」を飲んで考えよう。

木村 英利

## 『フォーシーズンズ』

一年ほど前になりますが、少年野球のコーチをやることになりました。

三年生、四年生の初めて野球をする子から始めて一年くらいの子が担当でした。

この一年間を振り返ってみると同じくらいのレベルでスタートした子が一年間でもものすごく差がついてくるんです。

それは、素質とか運動神経もあるでしょうが本質は、野球が大好きで楽しんでやっているか、「友達がやっているから」となんとなくやっている子の差ではないかと思えます。

練習日は一週間に一度二、三時間ですから、この練習だけでは一週間経つと元に戻ってしまいなかなか上達しません。

ですから家で毎日五分でも十分でも練習するよう指導する訳です。

好きな子は自ら進んでやってきます。後者の子は強制されていやいややりますから継続しません。

そうしたことからすれば、技術面だけでなく野球の面白さを教え、楽しんでできるよう指導するのがコーチのテーマではないかと思えます。

私自身、最初のころは「せっかくの日曜日に少年野球の……」と思っていましたが、今では楽しみになり、土曜日の夜には息子と二人で天気を気にしながら、グローブ、ユニフォームを準備しております。

稲葉 友昭

## ビデオ「にんげんだもの」を観て

(若手モーニングスクール)

「物とお金の交換所」商売しているところのようになりがちである。しかしこれでは自動販売機で用は足される。まさに同感です。

人間が人間と接して機械では補えないものがある。それは「心」「思いやり」等いろいろ考えられます。

とにかく見終って、言葉が何も出ませんでした。「感動」そのものです。心がしめつけられる様な、忘れかけていた何かを取り戻したように思います。

幼児の頃「ミツバチハッチ」をテレビでみていつも泣いておりました。内容は異なりませんが同様、素直に心を打たれました。

「一日一人がいい、心から有難うと云われる顧客、友がいればよい」「利益を得なくとも……」「いろいろあたりまえであるが、なかなか出来ない」という言葉も心に残っております。

基本は『もし自分ならばどうしてもらえれば一番うれしいのか、相手の立場を自分に置きかえて考え接する』これは重要なことだと痛感しました。

商売をやっている以上は儲け、利益を上げなくてははいけません。しかしそれ以上に大切なものがまだ世の中にあるのだと思えました。目先の利益しか考えずに行動しがちでありましたが、素直な気持ちにもどりまして。

まとまりませんがもう一度みたい映画の一つです。

## ☆暮しのエッセイ

### 私の引越し

二ヶ月前に引越しをしましたが、もうこれで名古屋へ来てから四回目です。

一ヶ所に落ち付けない性格という理由ではないのですが、いろいろな事情から変わったわけです。昔からあまり身の廻りの物以外はほとんど持ってなかつた為、本当に簡単な引越しでしたが、最近だんだん荷物が増えてきました。と言っても誰かが引越し等で不用になった物等をよくもらった為いつの間にか増えてしまいました。いろいろ荷物を整理している、こんな物がまだあったかと思う様な思い出の品や失くしてしまったと思っていた物が見つかったりで、懐かしい思い出に浸っていたら、いつの間にか時間が過ぎていました。何の変てつもないガラクタばかりですが、どうしても捨てきれない物があるものです。

今回の引越しでは、出来るだけ必要最小限にとどめ、それ以外の物は捨てて来ました。前に読んだ本の中で、N.T.Tの社長の真藤氏が、管理職に、ある程度の改革を問うと「十年間もやってきたことだから、今やめるわけにはいきません」という返事、「十年間も続けたのだから、早く捨てる事を考えよ」と叱咤したそうである。

古い考えや思い出ばかり追っているよりも一旦何もかも捨てて、新しい考え方や新しい思い出を、これから少しでも多く作っていく事、これもこれからの長い人生には必要な句読点かもしれません。

吉岡 孝記

## 野球観戦



先日、中堅対若手の野球の試合がありました。日頃見る事のできない皆さんの姿、見させて頂きとっても楽しかったです。

私も学生の頃からソフトボールをやっていたので、ある程度ルールは知っています。

皆さん、勝ち負けよりも、チームワークを大切に、本当に楽しんで野球をやっているように思えました。仕事が終わってその後、野球をしていても、疲れた顔をしている人は、いなかったんじゃないかと思えます。森松マンはすぐくたつなんだなあと思えました。珍プレー、好プレーもたくさん見られ、応援のしがいもありました。

ところで結果はというと、今回は十三対十一で、中堅の勝利でした。次回の時は、どっちが勝つか、今から楽しみにしています。

尚当日お忙しい中、審判に、助人にと山下様、佐藤様本当にありがとうございました。

今村 千草

## マコのものしりコーナー

### カーブとシュート

野球はいま、変化球の全盛時代。フォークボール、パームボール、スライダー、シンカー、スクリーンボールなど、その変化も実に多彩で、テレビの野球解説を聞いても、どのボールがどんな変化をするか、いっこうにピンときません。

変化球の中でも最も基本的なものがカーブとシュートです。野球オンチの人でも、この二つくらいはどんなボールなのか知っておいたほうがよいでしょう。

カーブは右投手の場合、投げたボールが左方向に曲がっていくものです。右打者の場合だと、外角方向へ逃げるボールになります。左投手のカーブは反対に右方向へ曲がっていくボールになります。曲がるわけは、ボールに強い左回転（左投手の場合は右回転）を与えているからです。

一方、シュートはカーブの反対で、投げたボールが右方向へ曲がっていきます（右投手の場合）。右打者の場合、手元に食いこむボールになるわけです。

ちなみにドロップというのは、縦に近い曲がり方をする落差の大きなカーブのこと。カーブとは別にドロップという球種があるわけはありません。

今月の社内行事

六月

四月

(F・M・S)

フレッシュユマン

スクール

九日

勉強会 (営業)

十一日

第二土曜日休日

十五日

中堅幹部会議

午前七時半より

二十五日

若手モーニング

スクール

我が家の事件簿

新生活

今年の二月に結婚し、早いもので三月過ぎてしまいました。同居なので始めの頃は、随分、甘えていたように思いますが、少しづつ慣れ、出来る限りは、やられるようになりましたがまだ々々、未熟です。朝食は、皆そろいませんが夕食は、殆んどそろってとるように心がけています。食事をしながら一日の出来事などを話すことは、とても楽しいことであり、だんらんの場になると思いました。このだんらんを消さないように持続させていくことが大切ですね。又、離れを建設中として七月には、入居出来る予定ですが生活用品などの移動で忙しくなりそうです。今から片づけられるところは、整理しておかなければ。

森松欄に入社して三年三カ月、皆様には、大変お世話になり、一言では、言い切れませんが感謝の気持ちで胸が一杯です。どうも有難うございました。振り返ってみますと慰安旅行、ハワイ旅行、テニス、スキー同好会、英会話教室、三周年記念家族パーティー、アキレス欄十周年記念家族パーティー、アキレス欄工場見学、デイズニールランド、もちつき大会など数々の楽しい思い出が頭に浮んできますと同時に十冊の日報の記録に示されていますが、多くのミスで皆様に大変御迷惑をおかけしまして申し訳ございませんでした。森松欄で学んだことをこれからの長い人生にプラスにして頑張っていきたいと思います。若い女性も六名になり、協力し合って明るいイメージを保って下さいます。皆様の御健康、御発展を願っております。本当に色々とお難う御座います。

吉川 しるゑ

編集後記

五月晴れは幾日あったでしょう。気持ちの良い日を数えているうちに六月を迎えてしまいました。波紋も早や満三年になるうとしております。

全員参加をモットーとしている森松らしく、社員はもちろん、その家族の方々、パートで働いている女性達にも御協力いただいて(少々無理矢理ですが)ますます充実してきました?

私達編集員(なんと責任者を始め編集員は全て女性ばかり)は、女性らしくきめ細やかで、ユニークで、誰が読んでもおもしろい社内報にしよう、毎月頭を痛めています。

お読みいただいた方々、皆様も波紋に参加されませんか、お待ち致しております。

伊藤 孝子

今月のことば

毎日少しずつ

えんががなかなかたがてき、  
あんだたなあ、みつを

クイズコーナー

答=りんご10個、なし5個

思いの他たくさんのお応募ありがとうございました。三名様商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

編集発行者  
森松株式会社

発行責任者  
橋本正子  
昭和63年6月1日  
第36号